

設立5周年記念事業 弘前管工事業協同組合青年部会

現在、我々の建設業界は、若輩の私が改めて多くの言葉を要する必要はないと思いますが、公共工事の大幅な縮減による建設投資の低迷、そしてこの建設投資と建設業者数のアンバランスによる過当競争、受注の減少など非常に厳しい経営環境に直面しています。

その中で、今回弘前管工事業協同組合青年部会が、5周年記念事業として全国管工事業協同組合連合会青年部協議会主催の環境問題研究事業工コ倶楽部探検隊に、自ら進んで参加し無事終了することができました。おかげさまで弘前管工事業協同組合も40周年を迎えますが、このような事業に自主的に参加したのは、今回が初めてと関係者から伺っており、協力していただいた全ての方々に深く感謝しております。

当青年部会は、今回の5周年記念事業のサブテーマとして(1)当組合のPR活動 (2)地域貢献活動 (3)同業組合と



開会式終了後、弘前管工事業協同組合正面玄関にて記念撮影

弘前管工事業協同組合青年部会

■担当役員 阿保秀樹
■実施日 平成17年6月4日(土)
■参加者 54名【児童22名 保護者16名 青年部16名】

の差別化 (4)青年部会の団結力強化 (5)家族の絆 の5項目を掲げ、総合的に各組合員の永続・経営者の育成を目指しました。

企画書の作成・プログラム作成・各関係官庁との打合せ・シミュレーションの実施・報告書の作成等計画から実施に至るまで、不慣れなため1年以上も費やしてしまいましたが、地域新聞2社に掲載され、かつFMラジオにも取り上げられ、参加した児童を主体とした御家族様から合格の評価をいただいた事に、青年部一同新鮮な興奮と感動を受けました。

記事には載りませんでしたが、ゴミ拾い作業中にスタッフが『児童が頭部に怪我をしたので看護師の出動をお願いします』と慌てて駆け寄ってきた時には一瞬頭の中が真っ白になりましたが、話を最後まで聞くと、他の保育園遠足に参加していた園児が遊具に頭部を強打し、顔面の大半が血で染まり大声で泣き叫ぶ児童に、付添いの保育士が動揺し手を拱いている状況を見ていられず、当青年部が待機させていた看護師に緊急処置を施してほしいということでした。どんなことがあっても対応できるように計画したことが役立ち保育士から感謝され、あしながおじさんにでもなったような充実感を覚えました。

今回この企画に参加させていただき、各青年部会員相互の眼に見えない経営資源の骨格が構築でき、また当業界の近い将来への試金石的なものが見えた様な気がいたします。

最後になりますが、弘前管工事業協同組合青年部の5周年記念事業にご協力いただきました、弘前市教育委員会指導課・津軽広域水道企業団・弘前市立西小学校(知坂教頭先生)及び広告協賛いただきました各メーカー及び商社様大変ありがとうございました。



津軽広域水道企業団にて水道水が出来る仕組みについて実験を交えながら説明会を実施していただきました



青年部スタッフが安全具を着用しダム内のゴミ回収作業



スタッフ及び参加者で回収したゴミを計量後記念撮影